



平成 30 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義  
(コード番号：4585 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之  
電 話 0 4 5 - 5 9 5 - 9 8 4 0

## ジカウイルス感染症ワクチン開発に関する基本契約解約及び 特別損失の計上に関するお知らせ

本日、当社は、平成 30 年 12 月期（第 3 四半期）において、ジカウイルス感染症に対するワクチンを共同で開発するコンソーシアムに関するパートナーシップ契約（以下、「基本契約」といいます。）を解約、当該解約に伴う特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

### 1. ジカウイルス感染症ワクチン開発に関する基本契約解約について

当社は、平成 30 年 2 月 14 日開示の「平成 29 年 12 月期決算短信 1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」に記載の通り、平成 28 年 6 月 28 日に Protein Sciences Corporation（本社所在地：米国コネチカット州 代表者ミレリ・フィノ、以下、「PSC」といいます。）との間で締結した基本契約に基づき、PSC、中南米 3 か国の会社・組織、及び当社で構成するジカ感染症ワクチン開発のためのコンソーシアムにおいて、臨床試験を念頭に各種準備を進めておりましたが、コンソーシアムに係る正式合意については、塩野義製薬株式会社との資本業務提携契約等の状況並びに昨今のジカウイルスの感染状況等を考慮し、当社における開発優先度が低いことから、参加しない旨を PSC へ伝え、脱退について協議しておりました。

今般、基本契約を解約し、コンソーシアムを脱退することで合意に至り、本日付にて解約合意書を締結いたしました。

### 2. 特別損失の計上について

当社は、基本契約解約にあたり、基本契約締結以降、コンソーシアム参加メンバーと合意したジカウイルスワクチン開発計画に従い進めてきたワクチン開発に支出した費用について、当該開発に係る成果を得ることを対価として、コンソーシアム参加メンバー間の持分に従い算出された当社負担金 348,706 米ドル（36,272 千円 換算レート：1 ドル＝104.02 円）を、基本契約締結時に支払い預け金として貸借対照表に計上していた当社拠出金 500,000 米ドル（52,010 千円 換算レート：同上）から充当することとなりました。これに伴い、当該当社負担金 348,706 米ドル（36,272 千円 換算レート：同上）について、事業整理損として特別損失に計上するものであります。なお、当社拠出金から当社負担金を控除した残金 151,294 千ドルは、速やかに返還されます。

### 3. 今後の見通し

平成30年2月14日付で公表しました平成30年12月期通期業績予想につきましては、試験研究費及び一般管理費の進捗状況及び第4四半期以降における費用想定より、役員報酬削減をはじめとするコスト削減を実施、人件費、消耗品費、外注費を中心に、当該特別損失額と同額程度の費用減少を見込んでいることから、当該特別損失の影響をほぼ吸収する結果、業績予想への影響は軽微であります。

また、ジカウイルス感染症に対するワクチン開発は、当社自社開発パイプラインの対象外であり、中長期的な事業にも影響はありません。

以上